

# 新潟県の地震概況 令和7年(2025年)11月

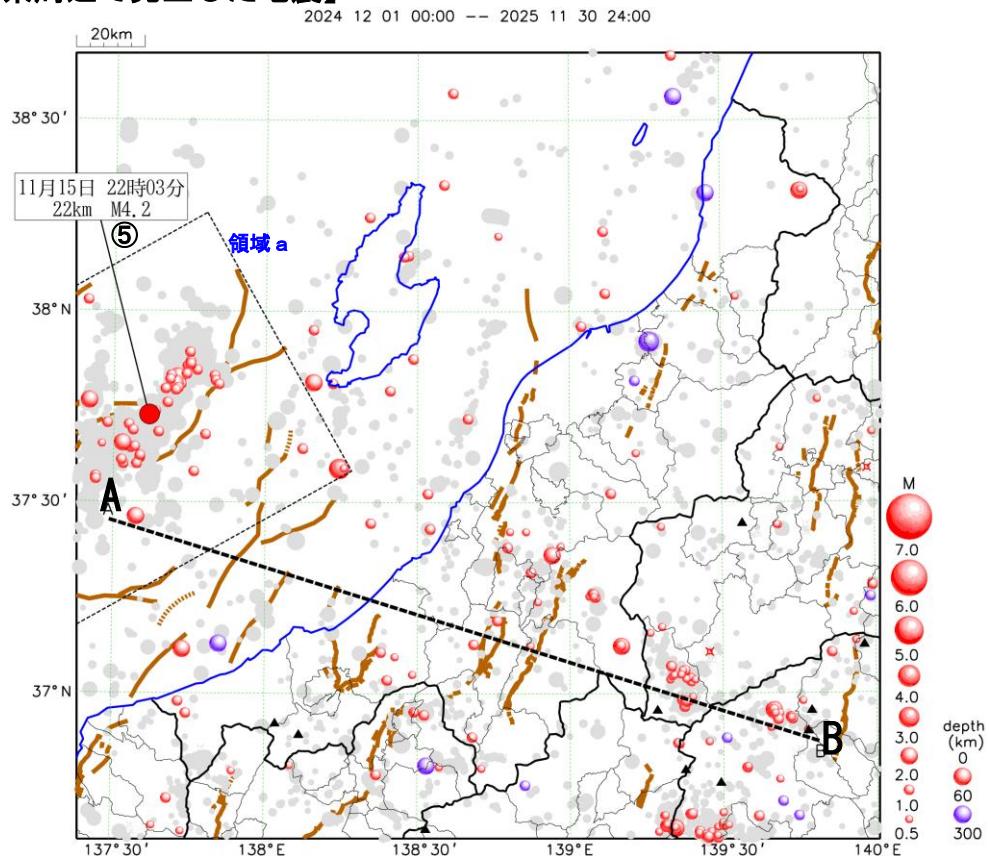
令和7年12月12日

新潟地方気象台

## 【11月の地震活動概況】

この期間、県内の震度観測点で震度1以上を観測した地震は5回（最大は震度2）でした。このうち、新潟県とその周辺（図1）で発生した地震で、県内で震度1以上を観測した地震は1回でした。（「期間内に発生した主な地震」を参照）

## 【11月に新潟県周辺で発生した地震】

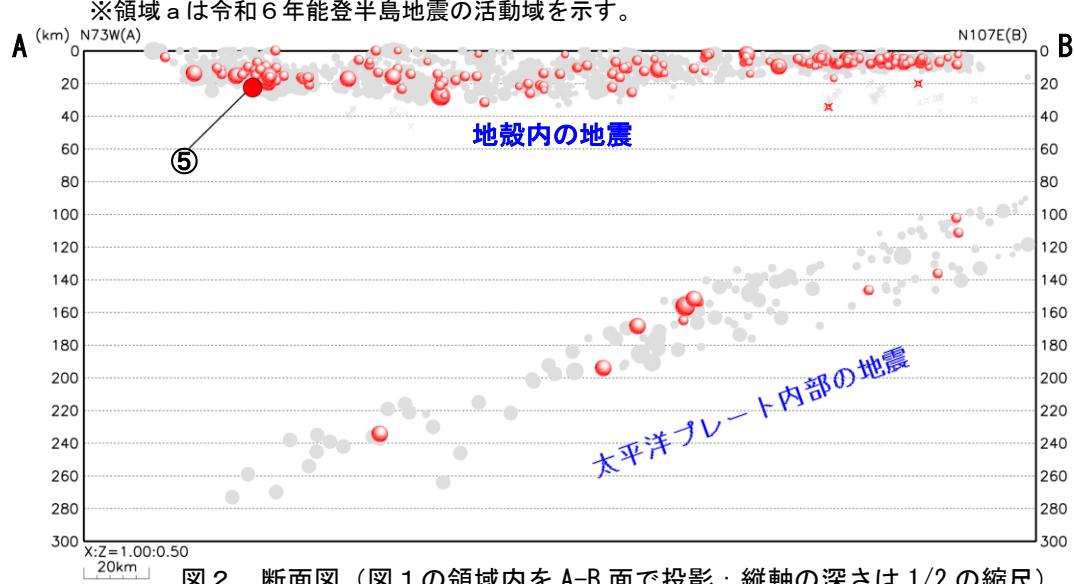


※過去1年間の地震を表示。令和7年11月に発生した地震を赤又は青、それ以前はグレーで示した。

※図中の茶色線は地震調査研究推進本部で長期評価されている活断層を示す。

※図中の▲は活火山を、☒は深部低周波地震を示す。

※領域aは令和6年能登半島地震の活動域を示す。



## 【期間内に発生した主な地震】

### ○三陸沖の地震

① 9日17時03分 三陸沖の地震 (M6.9、深さ16km) により、岩手県、宮城県で震度4を観測したほか、北海道から関東甲信地方、静岡県及び新潟県にかけて震度3～1を観測しました。

この地震の後、②9日17時14分 (M6.1、深さ6km) ③9日17時54分 (M6.6、深さ14km) ④10日16時23分 (M6.4、深さ8km) に発生した3件の地震で、新潟県内では震度2から1を観測しました。これらの地震は太平洋プレートと陸のプレートの境界で発生しました。

この地震の震央付近では11月4日から地震活動がみられ、30日までに震度1以上を観測する地震が45回<sup>(注1)</sup>発生し、その内、新潟県内で震度1以上を観測した地震は4回でした。

1997年10月以降の活動をみると、今回の地震の震源付近では、M5.0以上の地震が時々発生しており、2015年2月17日にはM6.9の地震（最大震度4）が発生しています。この地震では、新潟県内でも村上市で震度3を観測したほか、広い地域で震度2～1を観測しています。

### ○令和6年能登半島地震

石川県能登地方では、2020年12月から地震活動が活発になっており、活動当初は比較的規模の小さな地震が継続する中、2024年1月にM7.6の地震が発生しました。M7.6の地震の活動域では、地震活動が低下してきているものの、依然として継続しています。

11月中の最大規模の地震は、15日22時03分に発生したM4.2の地震（最大震度2）です。震度1以上を観測した地震は3回<sup>(注1)</sup>で、その内、新潟県で震度を観測した地震は1回でした。

⑤ 15日22時03分 佐渡付近の地震 (M4.2、深さ22km) により、新潟県上越市で震度2を観測したほか、石川県で震度1を観測しました。新潟県内では上越市で震度2、柏崎市、佐渡市で震度1を観測しました。

注1) 震度1以上を観測した地震の回数は、後日の調査で変更する場合があります。

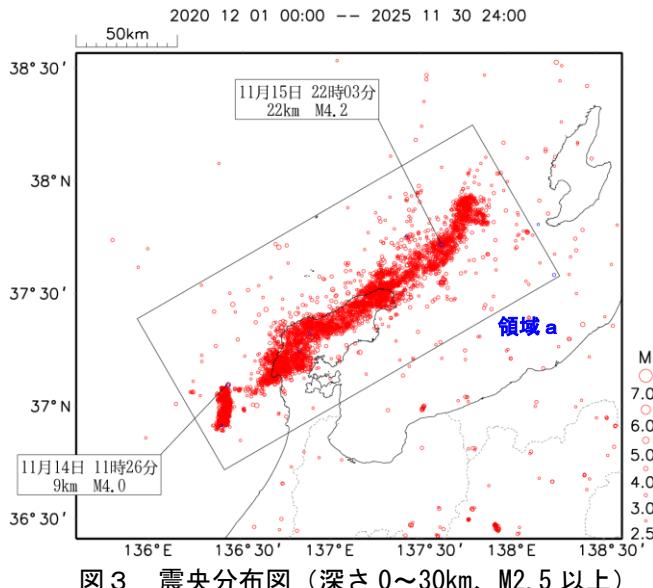


図3 震央分布図（深さ0～30km、M2.5以上）

- ・図3の吹き出しへは2025年11月に発生した、最大震度3以上の地震又はM3.5以上の地震
- ・図4の左側縦軸はマグニチュード、右側縦軸は地震の積算回数
- ・2020年12月～2025年10月に発生した地震を赤色、2025年11月を青色で示した

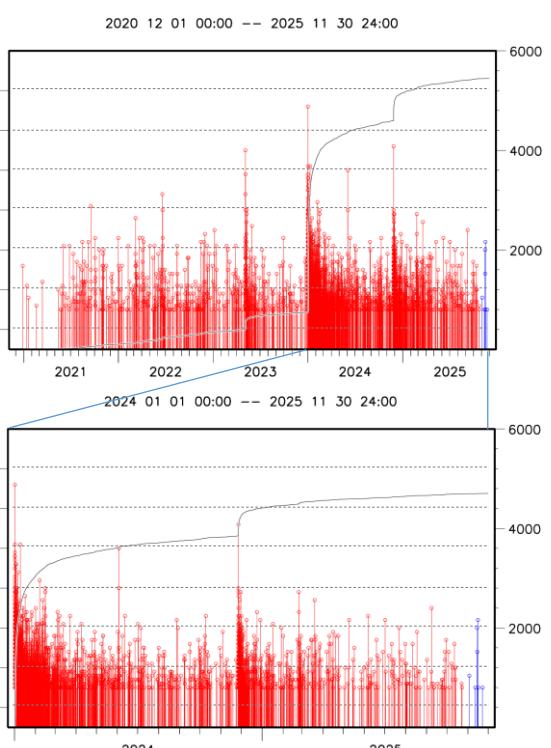


図4 図3の領域a内の活動経過図及び回数積算図

**【新潟県内で震度1以上を観測した地震】**期間 2025年11月1日～2025年11月30日

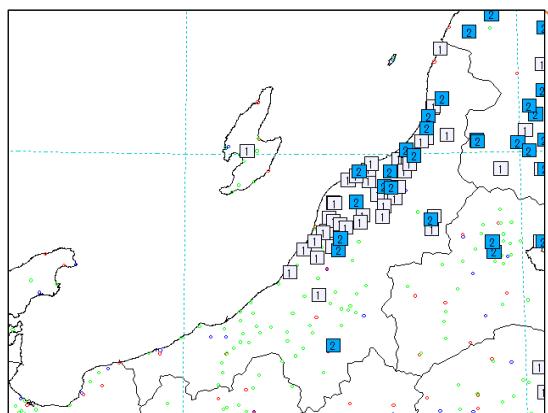
地震の発生日時（年/月/日/時:分）	震央地名	緯度	経度	深さ	規模	全国最大震度
各地の震度 *は地方公共団体または国立研究開発法人防災科学技術研究所の観測点						
① 2025年11月09日17時03分 三陸沖		39° 24.1' N	143° 30.4' E	16km	M6.9	4
震度 2 :	三条市新堀*, 見附市昭和町*, 南魚沼市六日町, 新発田市住田*, 新発田市真野原外*, 村上市山口*, 村上市岩船駅前*, 村上市岩沢*, 阿賀野市岡山町*, 阿賀野市姥ヶ橋*, 阿賀町津川*, 新潟北区東栄町*, 新潟中央区新潟市役所*, 新潟南区白根*					
震度 1 :	長岡市上岩井*, 長岡市小島谷*, 長岡市寺泊敦ヶ曾根*, 長岡市中之島*, 三条市西裏館*, 小千谷市城内, 加茂市幸町*, 田上町原ヶ崎新田*, 出雲崎町米田, 刈羽村割町新田*, 新発田市本町*, 新発田市乙次*, 新発田市中央町*, 村上市片町*, 村上市三之町*, 村上市府屋*, 燕市秋葉町*, 燕市吉田西太田*, 燕市分水桜町*, 五泉市村松乙, 五泉市太田*, 聖籠町諏訪山*, 弥彦村矢作*, 関川村下関*, 阿賀野市山崎*, 阿賀野市かがやき*, 阿賀町鹿瀬*, 阿賀野市豊川*, 胎内市新和町, 胎内市黒川*, 新潟空港, 新潟東区下木戸*, 新潟中央区美咲町, 新潟江南区泉町*, 新潟秋葉区新津東町*, 新潟西区寺尾東*, 新潟西蒲区役所, 新潟西蒲区巻甲*, 佐渡市千種*					
② 2025年11月09日17時14分 三陸沖		39° 28.8' N	143° 31.2' E	6km	M6.1	2
震度 1 :	村上市岩船駅前*					
③ 2025年11月09日17時54分 三陸沖		39° 27.1' N	143° 24.0' E	14km	M6.6	3
震度 2 :	村上市岩船駅前*					
震度 1 :	加茂市幸町*, 南魚沼市六日町, 新発田市住田*, 新発田市真野原外*, 村上市岩沢*, 聖籠町諏訪山*, 阿賀野市岡山町*, 阿賀野市姥ヶ橋*, 胎内市新和町, 新潟北区東栄町*, 新潟空港, 新潟南区白根*, 新潟西蒲区役所					
④ 2025年11月10日16時23分 三陸沖		39° 33.5' N	143° 33.3' E	8km	M6.4	3
震度 2 :	村上市岩船駅前*					
震度 1 :	加茂市幸町*, 南魚沼市六日町, 新発田市住田*, 新発田市真野原外*, 村上市片町*, 村上市三之町*, 村上市岩沢*, 五泉市太田*, 聖籠町諏訪山*, 阿賀野市岡山町*, 阿賀野市姥ヶ橋*, 阿賀町津川*, 胎内市新和町, 新潟北区東栄町*, 新潟空港, 新潟南区白根*, 新潟西蒲区役所					
⑤ 2025年11月15日22時03分 佐渡付近		37° 43.6' N	137° 37.0' E	22km	M4.2	2
震度 2 :	上越市木田*					
震度 1 :	上越市大手町, 上越市柿崎区柿崎*, 上越市大島区岡*, 柏崎市西山町池浦*, 佐渡市相川三町目, 佐渡市両津湊*, 佐渡市河原田本町*, 佐渡市羽茂本郷*, 佐渡市真野新町*, 佐渡市相川栄町*, 佐渡市小木町*					

**【震度分布図】**

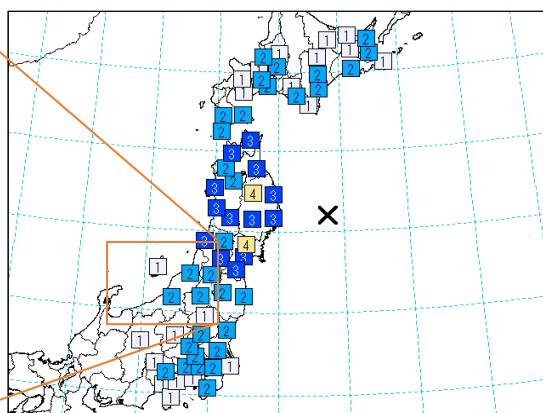
図中○は震度観測点を示す

① 9日17時03分 三陸沖

観測点別震度分布図



地域別震度分布図

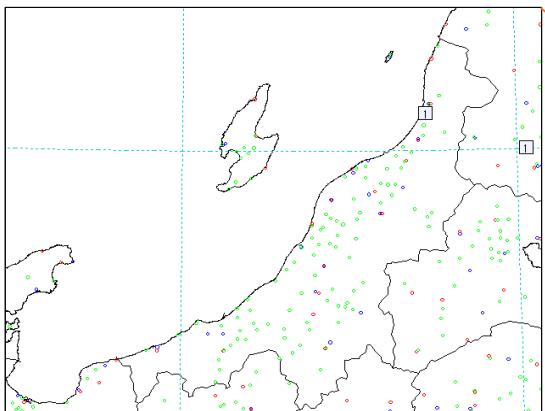


凡例  
4 震度4  
3 震度3  
2 震度2  
1 震度1  
× は震央

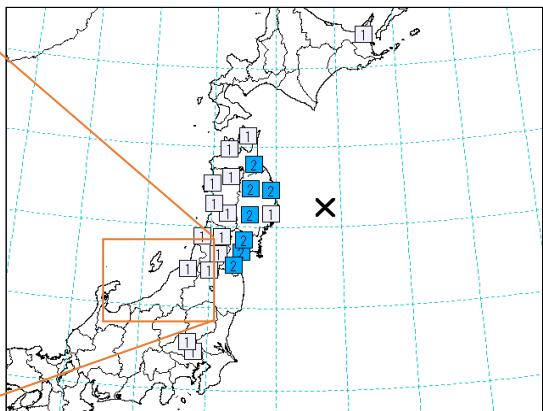
図中○は震度観測点を示す

② 9日17時14分 三陸沖

観測点別震度分布図



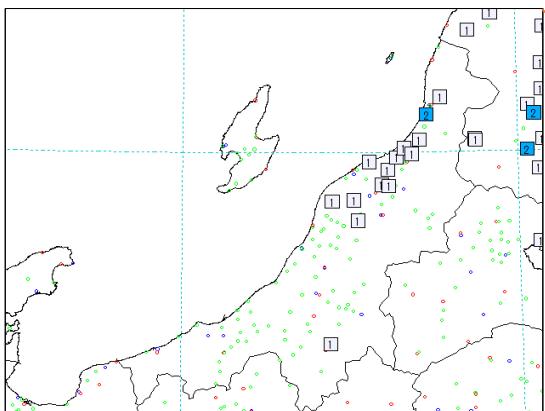
地域別震度分布図



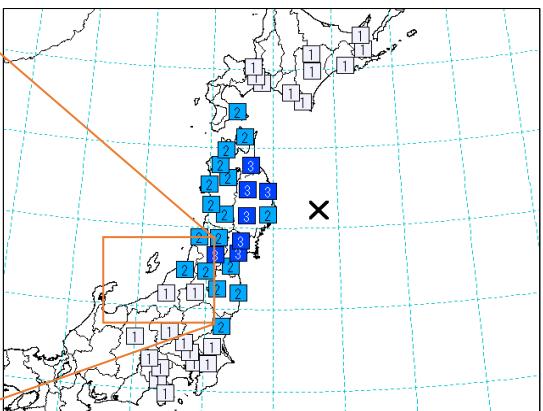
凡 例  
4 震度 4  
3 震度 3  
2 震度 2  
1 震度 1  
× は震央

③ 9日17時54分 三陸沖

観測点別震度分布図



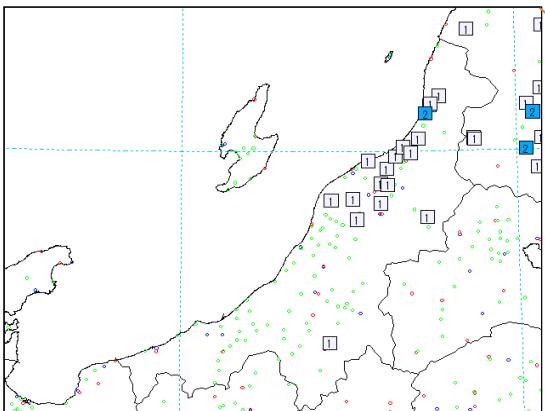
地域別震度分布図



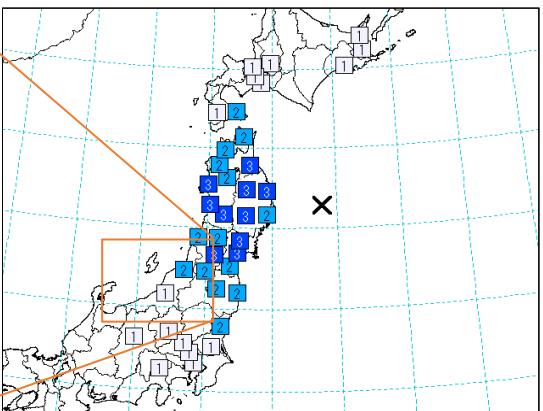
凡 例  
4 震度 4  
3 震度 3  
2 震度 2  
1 震度 1  
× は震央

④ 10日16時23分 三陸沖

観測点別震度分布図



地域別震度分布図

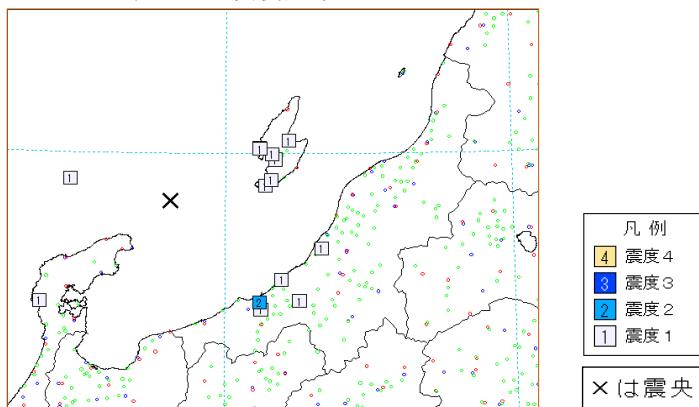


凡 例  
4 震度 4  
3 震度 3  
2 震度 2  
1 震度 1  
× は震央

図中○は震度観測点を示す

⑤ 15日22時03分 佐渡付近

観測点別震度分布図



### 【新潟県内で最大震度1以上を観測した月別・震度別地震回数表】

年	2024	2025年												合計	
		月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	
震度1	4	1	1	3	4	1	0	3	0	1	0	1	0	1	19
震度2	0	1	1	0	3	1	0	2	2	0	3	3	4	17	
震度3	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
震度4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
震度5弱	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
震度5強	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
震度6弱	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	4	3	2	4	7	2	0	5	2	1	3	5	5	38	

### 【過去の地震・津波災害から学ぶ】

○ 2024年は新潟地震から60年、新潟焼山火山災害から50年、平成16年(2004年)新潟県中越地震から20年という、災害の発生から節目の年でした。県内に「防災・減災 新潟プロジェクト2024」が立ち上がりました。<https://www.hrr.mlit.go.jp/project2024/>

気象台ではこの活動に参加し、取組の一つとしてこれらの特設サイトを開設し、皆様にご利用いただいておりましたが、プロジェクトが総括され気象台の取組も終了しました。

なお、作成しておりますサイトは、引き続き皆様にご利用頂きたく、別途入口を設けました。  
過去の大災害から学び、日頃から地震や津波、火山噴火への備えを心がけると共に、防災教育等にもご活用ください。[https://www.data.jma.go.jp/niigata/menu/2024project/2024project\\_link.html](https://www.data.jma.go.jp/niigata/menu/2024project/2024project_link.html)

### 【令和6年能登半島地震の各種資料】

○令和6年能登半島地震の関連情報

関連報道発表等の地震関連情報の他に、被災地向けの気象支援資料なども掲載されています。

[https://www.jma.go.jp/jma/menu/20240101\\_noto\\_jishin.html](https://www.jma.go.jp/jma/menu/20240101_noto_jishin.html)

令和6年1月 地震・火山月報(防災編)に特集ページとして掲載されています。

<https://www.data.jma.go.jp/egev/data/gaikyo/monthly/202401/202401index.html>

令和6年能登半島地震の地震活動と防災事項ポータルサイト

<https://www.data.jma.go.jp/kanazawa/shosai/notojishinportal.html>

## 注) 利用にあたって

- ・資料は速報であり後日の調査により変更されることがあります。
- ・新潟県内で震度1以上を観測した地震の一覧表の震度は、県内ののみを記述しています。  
また、最大震度は、県内または県外での値を記述しています。
- ・気象庁では地震の震源、マグニチュード等を算出するにあたり、国立大学法人などの関係機関から地震観測データの提供を受け(注1)、文部科学省と協力して処理を行っています。
- また、震度の情報は、地方公共団体及び国立研究開発法人防災科学技術研究所から提供された観測データを含めて発表しています。

(注1) 本資料は、国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、公益財団法人地震予知総合研究振興会、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを用いて作成しています。また、2016年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点(河原、熊野座)、2022年能登半島における合同地震観測グループによるオンライン臨時観測点(よしが浦温泉、飯田小学校)、2025年トカラ列島近海における合同地震観測グループによるオンライン臨時観測点(平島、小宝島)、EarthScope Consortiumの観測点(台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東)のデータを用いて作成しています。

- ・この地震概況は新潟地方気象台ホームページの地震解説資料・地震概況のページに掲載しています。  
[https://www.data.jma.go.jp/niiigata/jishin/jishin\\_kaisetu\\_index.html](https://www.data.jma.go.jp/niiigata/jishin/jishin_kaisetu_index.html)
- ・資料についての問い合わせ先: 新潟地方気象台電話: 025-281-5872

## 【地震・津波一口メモ】

# 北海道・三陸沖後発地震注意情報

## ○北海道・三陸沖後発地震情報とは?

三陸沖や北海道の太平洋側の沖合(日本海溝・千島海溝沿い)の領域では、マグニチュード(M)7クラスの地震が発生した後に、さらに大きな地震が発生した事例が確認されています(図1)。そこで、続いて発生する地震(後発地震)が実際に発生する確率は低いものの、巨大地震が発生した際の甚大な被害を少しでも軽減するため、この領域でM7以上の地震が発生した場合に、北海道・三陸沖後発地震注意情報を発信して、**大きな地震の発生への備えを呼びかけます**。

(※先に発生した地震を「先発地震」、それに続いて発生する地震を「後発地震」と呼びます。)

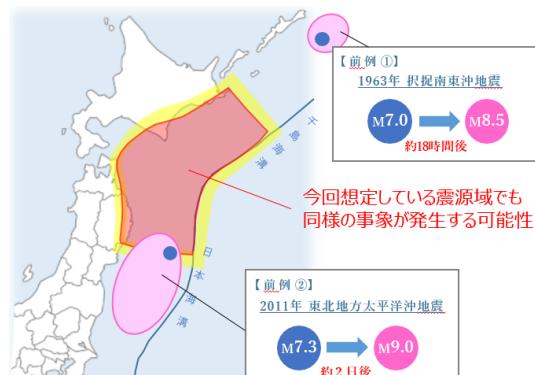


図1 情報の対象領域(赤枠内)と過去の後発地震の事例

## ○情報が発信されたときは何をすれば?

この情報は、後発地震の発生可能性が平時よりも相対的に高まっていることをお知らせするものです。情報が発信されたとしても、必ず巨大地震が発生するとは限りませんが、1週間程度、平時よりも巨大地震の発生に注意し、地震への備えを徹底しましょう。具体的には、家具の固定や安全な避難場所・避難経路の確認などの、日頃からの地震への備えの再確認に加え、揺れを感じたり、津波警報が発表されたりした際に、直ちに津波から避難できる態勢の準備などを行ってください。

**巨大地震が発生した場合に、北海道から千葉県にかけての広い範囲で想定される  
甚大な被害に対し、1週間程度、備えの再確認や迅速な避難態勢の準備を。**



詳細は気象庁HPをご覧ください。

[https://www.jma.go.jp/jma/kishou/know/jishin/nceq/info\\_guide.html](https://www.jma.go.jp/jma/kishou/know/jishin/nceq/info_guide.html)